

手賀沼が海だったころ

千葉県下の中世城郭保存の最近の動向

会長 森 伸之

1. 近年の「お城ブーム」と中世城郭

近年の「お城ブーム」は、姫路城の平成の大修理の前あたりから続き、財団法人日本城郭協会が2006年に「日本100名城」、あるいは2017年に「続日本100名城」を選定したり、実際にその100名城を踏破するような人もあらわれ、今日に至っています。テレビ番組でも、どの城が最強かなどと審査される様子が放送されたり、各地の名城が紹介されたりしています。そこで、一般には城郭は姫路城のような立派な天守閣や高い石垣のある城が登場する訳ですが、戦国期を中心に全国各地に築かれた中世城郭はなかなか取り上げられないのが実態かもしれません。

しかしながら、中世城郭をめぐる人々は、研究者、専門家ではありません。例えば現在「笑点」の司会をしている落語家の春風亭昇太のように城をめぐるのがこうじて『城あるきのス

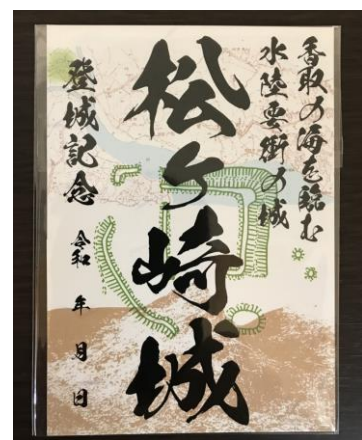
スメ』という本を出版するほどの人もいます。

なぜ城跡に行くかといえば、動機は人それぞれだと思います。昔ながらの名所旧跡めぐりの一環で行く人もいるでしょう。城跡や武将に関わる場所は昔も今も歴史ファンのよく訪ねる所です。一步進んで、地域の歴史を調べるために行く人もいます。また、「城ブーム」だからという人もいれば、歩く会のように、城めぐりをする事で健康増進という人もいるかもしれません。健康増進のためなら、目標は城でなくてもいいのですが、城跡が近くにあるなら、目標になりやすいと思います。

なかには城跡のある山や水辺などの自然に触れるのが癒しとなり、それを求めて城に行くという人もいます。

最近では中世城郭を含めた「お城めぐり」の本も出版され、お寺の御朱印集めならぬ、御城印集めも行われています。「お城 EXPO」も毎年開かれて多数入場し

ています。動機はともかく、「お城ブーム」もあって、中世城郭に行く人は増加しているように思われます。



<松ヶ崎城の御城印>

2. 中世城郭保存の最近の動き ~千葉県内を中心に

城郭を歴史的遺産として見直す動きについては、前号でも書いた平成5年

(1993)に姫路城(兵庫県姫路市)が世界文化遺産に指定された件や、千葉県でいえば、平成10年(1998)酒々井町の本佐倉城跡が、平成24年(2012)に里見氏城跡(南房総市の岡本城跡、館山市の稲村城跡)が国の史跡となった件に象徴されます。

本佐倉城跡は、正確には酒々井町と佐倉市にまたがった城跡ではありますが、下総千葉氏の居城であり、戦国期の千葉県有数の大規模城郭です。しかし、外郭部は畑や住宅地となり、内郭にも木が雑然と生い茂ったり、法面が崩落した場所もありました。平成16年(2004)になって酒々井町と佐倉市が共同で、史跡本佐倉城跡整備実施計画が立案されました。その計画に従い、整備が行われています。以前は本佐倉城跡には駐車場がないので、京

成大佐倉駅から歩いたりしておりましたが、今は駐車場もあります。最近では散策ルートが整備され、昨年1月には本佐倉城跡案内所も開設されました。

さて、つい最近では、2022年8月、佐倉市の白井田宿内砦跡が佐倉市指定文化財に指定されました。白井田宿内砦跡は、白井城の砦として、現在では唯一遺構がよく残った砦の跡になります。



<白井田宿内砦跡の公園>

白井城の砦とは、北に洲崎砦、西北に仲台砦、西南に田久里砦、南に稻荷台砦、南東に白井田宿内砦の5つですが、白井田宿内砦は、「利根川図誌」にも「白井旧事録」にも記載がありません。この白井田宿内砦跡は、かつては長源寺の寺域でした。



写真1：本佐倉城跡～奥ノ山(2003年)



写真2：白井城跡(1985年)

長源寺は元亀元年(1570)、原氏に招かれた道誉上人により、「新大巖寺」として創建され、安永元年(1772)に火災で焼失するまで、宿内砦のある台地上にあり、かつてその台地は長源寺山と呼ばれていました。白井田宿内砦跡は、2017～

2020年に佐倉市により発掘調査が4次にわたって行われ、中世城郭に関連する台地整形区画、溝状遺構などが検出されました。

15世紀後半の緑釉小皿、銭貨などが出土していることから、砦のある台地は15世紀後半には利用されたこ

とが判明し、白井田宿内砦自体は16世紀後半白井城の砦として機能、特に永禄9年(1566)の上杉謙信の白井攻めに備え、防備を固めたとみられています。

その白井田宿内砦跡には、一時マンション建設計画もありましたが、市民の反対

もあって、その計画はなく
なり、今は公園になっています。
奇しくも、宿内公園
となった後、BUMP OF
CHICKEN という佐倉市白
井出身者で結成されたバン
ドが、その宿内公園を歌の
モチーフとしました。中
世城郭を舞台として、若者
の歌が作られたというのも
面白いと思います。

なお、白井城跡も佐倉市
指定文化財に指定され、同
時に白井城址公園として整
備されており、印旛沼を挟
んで対岸になる印西市の師
戸城跡は千葉県立印旛沼公
園になっています。

3. 城郭の保存・活用と街 づくり

土塁と空堀でできた中世
城郭が、観光資源になるか
といえば、城跡に興味がない
人も多く、なかなか難し
いかもしれません。しか
し城跡のある場所の自然、
景観とあわせてみれば、研
究者や一部のマニア以外の
人にとっても、魅力ある場
所になるでしょう。また、
いかなる城郭でも、それぞ
れの来歴があり、その地域
に何百年も存在し続けたの

ですから、どの城も歴史的
な価値はあるといえます。

柏市指定文化財である松
ヶ崎城跡についていえば、
手賀沼沿岸の水辺の城であ
り、それは手賀沼の水運や
松戸一我孫子間の陸上交通
の結節点であることを背景
として、戦国初期において、
手賀沼の監視や戦時におけ
る兵の駐屯といった目的で
利用されたものと考えられ
ます。

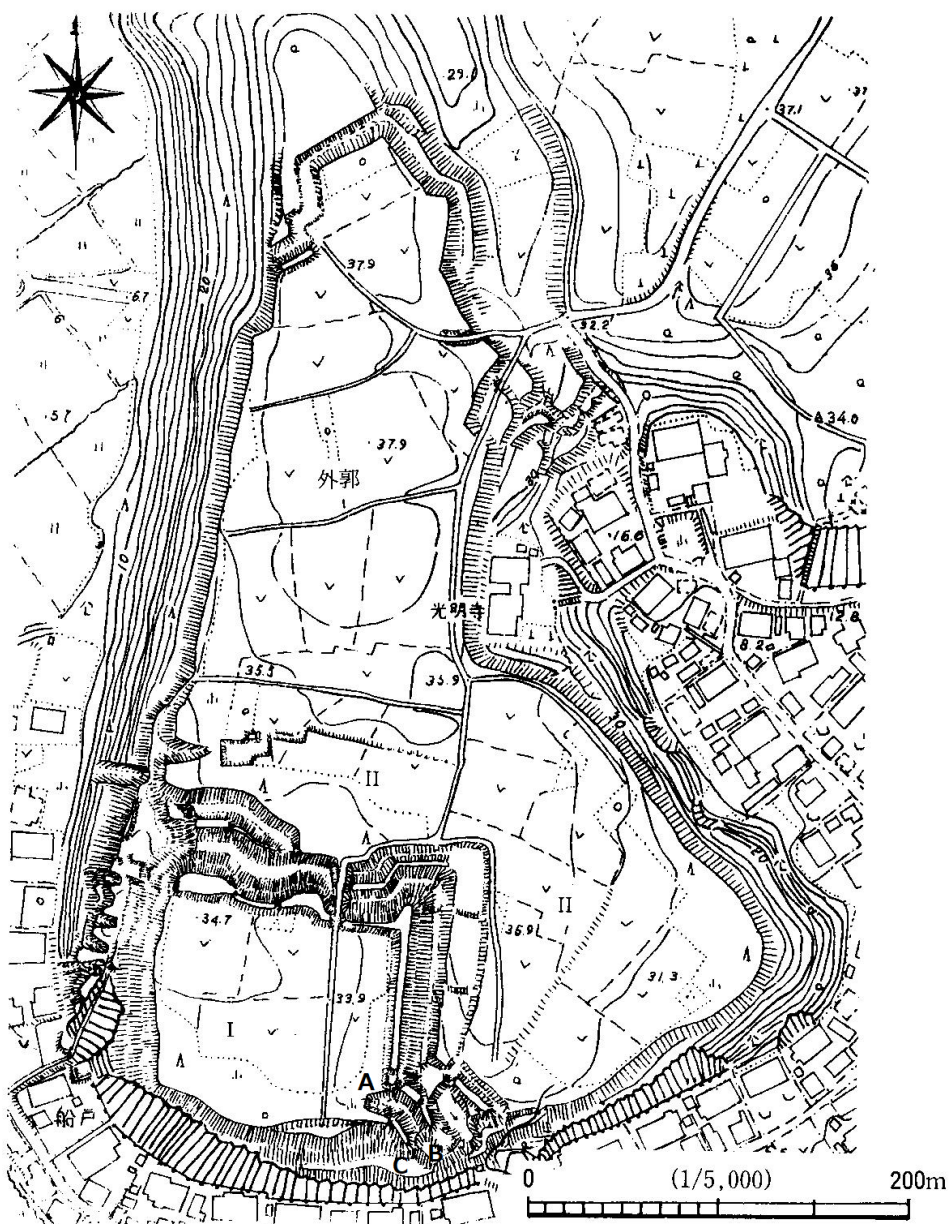
それが500年たった今で
も遺構が良好に保存されて
いること自体に価値がある
と考えますが、松ヶ崎城跡
は遺跡、歴史遺産であると
同時に、城跡のある台地は
従来からある杉や後で植樹
された河津桜をはじめとす
る広葉樹といった植生をも
つ里山です。

千葉県下で、同じように
遺構が良く保存されている
城跡で、自然豊かな場所
にあるのはいくつかあると
思いますが、柏市では松ヶ
崎城跡以外には、増尾城跡、
幸谷城跡が該当するでしょ
う。「日本100名城」
の一つに選ばれた佐倉城跡
は、広大な敷地に歴博など
の文化施設があり、全体が
緑豊かに公園化されていて、

佐倉連隊の戦争遺跡もあ
って、複合的な歴史・文化
遺産といえるでしょう。ま
た佐倉城跡は、周囲に武家
屋敷があるなど景観にも独
特なものがある、観光資
源としての可能性を十分も
っています。直接観光の
ようなものに繋がらな
くとも、地域の城跡を心の
拠り所とすることは、地域
愛、古い言葉では愛郷心
につながります。これは、
より良い街づくりのベー
スになるものではないでし
ょうか。

4. 最近参加した城郭関連 のイベントから

最近、いくつかの団体の
方からお誘いがあった、個
人として城郭関連のイベ
ントに参加しました。その
うち10月29日に開催さ
れた多古町での並木城跡
整備&城郭探索のイベ
ントでは、付近の道の駅
に集合、その後並木城跡
まで歩いて、多古町城
郭保存活用会の方々が
用意したお弁当で昼食
後、城跡で伐採された竹
や木の搬出など行いま
した。その後、並木城跡
を見学したのですが、
その折の所感を述べたい
と思います。



(原図・三島正之)

図1：多古町 並木城跡概念図

※「中近世城館跡の構造と特質」『千葉県文化財センター研究紀要 第20号』(2000)の図に文字入れ

まずいえるのは、戦国初期の古い作りの城を戦国後期に取り立てて、改造した形跡が主郭である台地南西部分の周辺土塁の北東角の

張り出しや、主郭南東側の立派な枡形虎口(図1のA)、それに連なる南の腰郭(同図1のB)と帯郭(図1のC)といった具合に、濃厚

に残っていることです。その帯郭は南の低地につながっていて、水辺にあった船着き場に通じていたのではないかと思います。

その南側低地の西になりますが、「船戸」という地名があります（図1の左下）。つまり船での出入り口が城の南の低地の水辺にあったのではないのでしょうか。また、城の主要部分の北東にある光明寺という寺は腰郭にたっていて、その周辺にも城の遺構と思われるものがありそうです（台地縁辺に土塁痕か）。山城ガールむつみ氏の解説にもありましたが、薬研状の堀の北から東の外側にまた土塁と堀があり、二重土塁、二重堀になっているのも特徴的

です。山城ガール氏の解説では戦国後期の正木氏の侵攻に備えて、古い城の郭内に新たに堀と土塁を築いて防備を固めたのではないかということ。正木氏侵攻に備えてかは分かりませんが、この城が新旧混合に遺構が残ったものというのは、私も同じ考えです。

並木城跡の周辺、特に南側台地下には大きな長屋門のある旧家が数軒あり、根古谷集落の名残のような風情も感じられました。

なお多古城郭保存活用会の高坂会長、飯田さんほか、

会の皆さんには、お世話になりました。さすが多古米で、お弁当も美味しかったです。

また、つい最近になりますが、前記の白井田宿内砦跡、白井城跡に、八千代市の考古学の団体の方々と一緒に見学に行ってきました。その見学会は白井田宿内砦跡が佐倉市の文化財に指定された件の学習会に伴い開催されたものでしたが、大変勉強になりました。

いずれ当会も、柏市内において、同様な見学会を開催しようと思います。



写真3：並木城跡遠景（南西から）



写真4：並木城跡周辺の長屋門の家



写真5：並木城跡の食い違い虎口



写真6：並木城跡南側の枡形虎口

2010年からの松ヶ崎城跡関連マスコミ記事・番組一覧

松ヶ崎城跡や当会の活動について、時々マスコミで取り上げられます。つい最近も日本テレビの「ぶらり途中下車の旅」で少しだけ松ヶ崎城跡が出てきましたが、ネットではお城ブームもあって春風亭昇太郎師匠のブログや地域情報のWEB記事などでも色々取り上げられています。以下2010年から新聞TVの関連記事・番組を拾ってみました。

| 日付 | 媒体 | 記事／番組 | 備考 |
|------------------------|----------|---|---|
| 2022.11.19 | 日本テレビ | ぶらり途中下車の旅 舞の海のぶらり旅（【番組放送時間】09:25～10:30） | 本日は常磐線で東京方面へ。舞の海は北柏で途中下車、松ヶ崎城跡も少し紹介。 |
| 2016.06.24 | 朝日新聞 | 根戸城跡など遺跡見学会 26日に市民団体が企画 /千葉県 | 東京地方版/千葉 写図有（全511字） |
| 2016.04.24 | 松戸よみうり新聞 | 「松戸周辺の城跡を訪ねて（3） 柏市 松ヶ崎城」 | 松ヶ崎城跡の紹介 写図有 |
| 2015.08.18 | 朝日新聞 | 旧柏飛行場と戦隊の変遷について講演 22日に市民グループ /千葉県 | 東京地方版/千葉（全503字） |
| 2014.11.08 | 朝日新聞 | 謎多い松ヶ崎城、講演会で再検証 16日には「お城祭り」も あす /千葉県 | 東京地方版/千葉 写図有（全459字） |
| 2014.11.08 | 朝日新聞 | 城跡調査・保存、15年の活動記念 柏の団体、あす講演会 /千葉県 | 東京地方版/千葉（全430字） |
| 2013.09.22 | 千葉日報 | 柏の豊かな自然感じて 環境保全7団体が初フェスタ 11月末まで16イベント | 地域（全480字） |
| 2012.11.27 | 東京新聞 | 込める 2012ちば衆院選 福島からの避難者復興「責任をもって長く」 | 朝刊 千葉中央版（全886字） |
| 2012.11.27 | 東京新聞 | 込める 2012ちば衆院選 福島からの避難者復興「責任をもって長く」 | 朝刊 千葉房総版（全886字） |
| 2012.08.21 | 朝日新聞 | 「松ヶ崎城学んで」市民団体、紹介DVD制作 /千葉県 | 東京地方版/千葉 写図有（全747字） |
| 2012.04.21 | 朝日新聞 | かつての「軍都」柏、戦争遺跡の写真展 あす「平和考える契機に」 /千葉県 | 東京地方版/千葉 写図有（全851字） |
| 2012.04.21 | 朝日新聞 | 柏で戦争遺跡写真展 あす「平和考える契機に」 /千葉県 | 東京地方版/千葉 写図有（全725字） |
| 2012.4.9～ 2012.4.15 | J:COM | 番組「ちばコレ！」のコーナーで松ヶ崎城跡と会の活動について松ヶ崎城跡をまわりながら紹介 | 1回の放映時間約15分を1週間に渡り放映（タレントの八波一起さんと当会会長が出演） |
| 2010.03.06 | 毎日新聞 | 植樹：松ヶ崎城跡に河津桜50本 柏の市民団体、市長に目録贈呈 /千葉 | 地方版/千葉 写図有（全300字） |
| 2010.03.04 | 朝日新聞 | 松ヶ崎城跡に桜、秋山市長に目録贈呈 柏・樹木オーナー制度 /千葉県 | 東京地方版/千葉 写図有（全438字） |
| 2010.02.14 | 読売新聞 | 【ちば週間語録】2月14日＝千葉 | 東京朝刊 表有（全650字） |
| 2010.02.12 | 朝日新聞 | 四季の木々を松ヶ崎城跡に植樹 柏ロータリーやボーイスカウト /千葉県 | 東京地方版/千葉 写図有（全241字） |
| 2010.02.12 | 読売新聞 | 城跡の緑取り戻そう 柏・松ヶ崎 住民ら植樹・整備活動＝千葉 | 東京朝刊 写有（全983字） |

ちなみに、当会は、書籍として2000年に『手賀沼が海だった頃 松ヶ崎城と中世の柏北城』（たけしま出版）を発刊したほか、2014年には15周年記念会誌を、2017年から会誌『水辺の城』を2022年で第6号まで発刊しました。また柏市などの調査記録もあり、研究者が松ヶ崎城跡を取り上げたり、当会の書籍、冊子記事などを紹介、引用することもあります。城郭の保存のためには、まず知っていただくことが重要だと思います。



松ヶ崎城跡と周辺の自然



変わり行く環境

1960年代、我々がまだ若いころは、北柏駅というものはありませんでした。

松ヶ崎城跡周辺で家がたっているのも松ヶ崎の台地下とか一本杉周辺、旧水戸街道沿いくらいで、松ヶ崎城跡の南側は水田を中心とした低湿地でした。それから1970年に北柏駅ができて、環境が激変、1980年代までには工場が出来たり、住宅地の開発も進んで今日に至っています。

そして、広い田んぼは姿を消し、松ヶ崎城跡の周辺の自然も少なくなり、北柏では大堀川沿い、松ヶ崎城跡に残っているのみです。今ではその残された自然は貴重になっています。

松ヶ崎城跡の動植物

松ヶ崎城跡には、明治時代には松が生えていたようですが、今は杉などと後で植樹した河津桜、樅や椎の木などの広葉樹があります。それも以前はうっそうとし

た杉林だったのが、現在はどちらかという日当たりのいい場所で、下草もドクダミのようなものから、日なたを好む草が増えました。ジュウニヒトエ、ホウチャクソウ、フタリシズカ、アキノタムラソウ、チゴユリ、ユリ、オトコエシ、ヒヨドリバナ、オトギリソウ、ゼンマイなど、いろいろな植物があります。竹も北東側の斜面に生えています。



<キンランの実>

松ヶ崎城跡には野鳥もヒヨドリなどが来ますし、以前は野ウサギもいたようです。実際に野ウサギを見た人は少ないですが。それから虫はチョウやバッタ類、セミなどです。

当会のカシニワの取り組み

当会は創立当初から地域

史研究以外に、自然環境保護の活動をしており、植樹もさることながら2010年頃から植物の見学会を何回か行いました。2010年当時は松ヶ崎城跡に来る人は、遊びに来た子供や親子連れ以外は、城郭、植生の研究者などでした



<河津桜とヒヨドリ>

2011年頃の植物の見学会の折に、来て頂いた環境保護団体の方の中に以前当会の会員だった女性がいて、その人が写真を撮影していたとき「あっ」と声をあげました。大輪のヤマユリが立派に咲いていたのです。



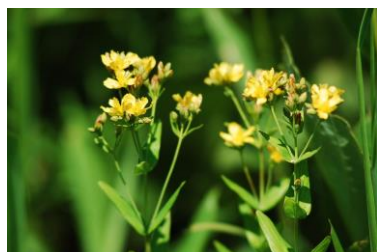
<ヤマユリ>

それから数回植物の見学会を行いました。当会としても、植物の専門家に見学会で教えてもらうだけでは…と思い、カシニワに参加し、地味ですが見学会のイベントをカシニワ・フェスタにあわせて行うようになりました。柏市みどりの基金の方で、ガイドブックも作ってくれるので、毎回松ヶ崎城跡について掲載させてもらっています。

最近河津桜が咲くシーズンには、近隣の人たちが大勢花見に来るようになりました。コロナ禍で、ソーシャル・ディスタンスが

いわれて、飲食店などでも座席はアクリル板だらけになりましたが、単独または少人数で行く分には、自然豊富な場所にはウイルスもいないでしょうから、皆さんも是非松ヶ崎城跡や行きやすい里山などにおでかけしてはどうでしょうか。

新たな発見があるかもしれません。



<オトギリソウ>



<開花したての河津桜>



<mamshigusa>



お知らせ

<来年度講演イベントについて>

今年には会長が7月に急病となり、7月の講座は延期、講演会も時機を逸することになり、会員の皆様にはご心配お掛けし申し訳ありませんでした。来年は6月に講演会というよりは、歴史トークと音楽を織り交ぜたようなイベントを開催しようと思います。具体的になりましたら、告知しようと思います。

<『水辺の城』第7号発刊について>

『水辺の城』第7号を来年5月から7月頃に発刊しようと思います。内容は、主に常総の地域史に関するものです。皆さん、ご投稿頂ければ助かります。

<原稿募集>

紀行文や写真、イラストでも、地域の歴史、自然に関わることなど、よろしくお願いします。

手賀沼が海だったころ

手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会会報 第47号 2022.12.25
編集・発行人：森 伸之

年会費2千円 振込先：千葉銀行 柏支店 普通 口座番号3461475